



2012/12/24 平成24年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会(女子)
Match Result



試合番号 **606** **A 試合会場レポート**

■会場 都城市早水公園体育文化センター(宮崎県都城市) 試合開始: 12:08 試合時間 1:50
 観客数 1,832 主審: 北村 友香 副審: 江下 毅



久光製薬スプリングス

■監督 : 中田 久美
 ■コーチ: 野中 俊英

■第1セット出場メンバー

3 新鍋	1 長岡	4 岩坂
9 平井	2 古藤	6 石井

()内は交代選手
 ■リベロ: 10 座安 琴希

得点	セット時間	得点
17	1set(22')	25
25	2set(27')	23
25	3set(27')	22
25	4set(25')	19

92	Total	89
3	セット数	1



東レアローズ

■監督 : 菅野 幸一郎
 ■コーチ: 福田 康弘

■第1セット出場メンバー

6 迫田	14 二見	9 小平
		10 (峯村)
4 高田	1 荒木	3 中道
		11 (田代)

()内は交代選手
 ■リベロ: 2 濱口 華菜里

■Match Comment

女子決勝、前大会優勝の東レアローズ対平成21年度本大会優勝の久光製薬スプリングスの戦い。
 第1セット、東レは迫田、久光製薬は長岡、石井を中心に得点を重ねる。中盤、東レは小平のサーブで流れを作り大きくリード。後半も、セッター中道のトス回しで久光製薬のブロックをかわし、東レがセットを奪う。
 第2セット、第3セットは、一進一退の攻防が続く。久光製薬は長岡、新鍋を中心に、東レは迫田、荒木、二見を中心に攻撃を組み立て、両チーム、ブロック、レシーブで粘りを見せた。しかし、久光製薬がセッター古藤のツーアタックや、後半からの石田の活躍により、連取した。
 第4セット前半も、石田の活躍があり、久光製薬のペースで試合が進む。後半、東レは峯村が途中出場し、スパイクやレシーブで流れを変え追いつくも、久光製薬が新鍋、石田のスパイク、岩坂のブロックで連続得点をあげ、3年ぶりの優勝を手にした。

■Coach Comment: 中田 久美(久光製薬スプリングス)

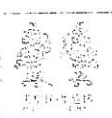
本日の試合は、1セット目こそとられてしまったが、ミスを恐れず、自分たちから1点を取りにいった結果が、優勝に結びついたと感じている。チーム発足から、チームの課題、個人の課題を明確に理解し、日々取り組んできたことが、優勝に結びついたものと感じている。これを通過点とし、更なる向上を図っていく所存である。本日は寒い中、大きな声援で背中を押していただき本当にありがとうございました。

■Coach Comment: 菅野 幸一郎(東レアローズ)

今日は、エンライトが怪我のため小平をスタメンとしたが、攻撃の起点となってくれてリズムを作ることができた。2セット目からは、久光製薬から強打やフェイントを決められ、サーブレシーブを崩されてしまい、東レのバレーができなかった。試合の敗因は、ラリー中のアタックの打ち方やサーブレシーブが崩れた時の攻撃がしっかり出来なかったことだと思う。今日は沢山の応援ありがとうございました。

■作成者: 濱元 盛佑

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。



2012/12/23 平成24年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会(女子)
Match Result



試合番号 **605** **A 試合会場レポート**

■会場 都城市早水公園体育文化センター(宮崎県都城市) 試合開始:13:45 試合時間 1:50

観客数 2,458 主審: 千代延 靖夫 副審: 北村 友香



パイオニアレッドウィングス

■監督: 宮下 直樹
 ■コーチ: 舟越 悠二

■第1セット出場メンバー

10 浅津	15 森谷	9 三橋
3 (横田)		6 (林)
5 服部	2 香野	17 渡邊
		8 (今野)

()内は交代選手
 ■リベロ: 20 吉田 真未

得点	セット時間	得点
20	1set(25')	25
25	2set(28')	23
19	3set(26')	25
14	4set(22')	25

78	Total	98
1	セット数	3



久光製薬スプリングス

■監督: 中田 久美
 ■コーチ: 野中 俊英

■第1セット出場メンバー

3 新鍋	1 長岡	4 岩坂
9 平井	2 古藤	6 石井

()内は交代選手
 ■リベロ: 10 座安 琴希

■Match Comment

平成21年度本大会優勝の久光製薬スプリングスと昨年度ベスト8のパイオニアレッドウィングスとの一戦。スタートより両者譲らず、第1セット、久光製薬は長岡、岩坂、水田、野本のアタックやサーブで相手を崩す。一方パイオニアは、服部、浅津のアタックによる活躍もあったが、久光製薬が先制する。第2セット、前半からもつれたゲームになったが、中盤スタエレンスが入り流れを変え、浅津、森谷、服部のアタックやブロックで、パイオニアがセットを取り戻す。第3セット、中盤からパイオニアがリードするも、久光製薬岩坂や新鍋のサーブ、平井のアタックで逆転、パイオニアも森谷のスパイクで応戦するが、久光製薬石田のアタックなどの活躍で、久光製薬がこのセットをものにした。第4セット、久光製薬は前セットの勢いそのままに、石田、長岡のアタックで先行した。一方、パイオニアは今野のバックアタックや三橋のブロックで反撃したが、最後は久光製薬が逃げ切り、決勝進出を決めた。

■Coach Comment: 宮下 直樹(パイオニアレッドウィングス)

スタートはレシーブがよく上がっていたが攻撃に結びつかなくて取られてしまった。2セット目になり守備と攻撃に繋がりが生まれ、1対1の状態に持ち込めた。3セット目のスタートは、2セット目の流れのままうまくいったが、中盤に追いつかれてから久光製薬の力で押し切れられ、4セット目もそのままの流れを変えられずに負けてしまった。沢山の応援に支えられここまで来たが、なんとかその期待に応えて決勝に進みたかった。しかし、残念な結果となってしまった。応援ありがとうございました。

■Coach Comment: 中田 久美(久光製薬スプリングス)

本日の試合では、スターティングメンバー、控えのメンバーがそれぞれの役割をしっかりと果たし、最後まで戦ってくれた。ただ、負けたセットは度重なるミスで自滅し、チームの雰囲気悪くしてしまったので、今後の戦いでは、修正して一戦一戦を戦っていきたいと思う。明日の一戦も久光製薬らしい自分たちのバレーができるように頑張りますので、応援の方もよろしくお祈りします。本日は寒い中、沢山の応援ありがとうございました。

■作成者: 清水 勉

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。



2012/12/23 平成24年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会(女子)
Match Result

試合番号 **604** **A 試合会場レポート**

■会場 都城市早水公園体育文化センター(宮崎県都城市) 試合開始:11:00 試合時間 2:04
 観客数 2,264 主審: 江下 毅 副審: 代居 正巳



岡山シーガルズ

■監督 : 河本 昭義
 ■コーチ: 吉田 啓佑

■第1セット出場メンバー

11 栗原	3 佐々木	28 川島
7 (佐々木)		
4 関	14 宮下	5 福田
22 (卜部)		1 (吉田)

()内は交代選手
 ■リベロ: 20 丸山 亜季

得点	セット時間	得点
17	1set(23')	25
25	2set(26')	20
15	3set(23')	25
25	4set(23')	19
14	5set(17')	16
96	Total	105
2	セット数	3



東レアローズ

■監督 : 菅野 幸一郎
 ■コーチ: 福田 康弘

■第1セット出場メンバー

6 迫田	14 二見	7 エンライト
		9 (小平)
4 高田	1 荒木	3 中道
		11 (田代)

()内は交代選手
 ■リベロ: 2 濱口 華菜里

■Match Comment

前回大会ベスト4の岡山シーガルズと前大会優勝の東レアローズの戦い。
 第1セット序盤、東レエンライトのジャンプサーブで連続得点を重ねる。岡山もタイムアウト後、川島のサーブから一時はリズムを作るも、そのままの流れで東レが奪う。
 第2セット、東レが1セット目の勢いそのまま流れをつかむ。一方岡山は吉田の投入により緩急をつけた攻撃でポイントを重ねて逆転。後半はメンバーチェンジで粘りを見せた東レだが、そのまま岡山がセットを奪う。
 第3セット、岡山は川島のブロックから流れをつかみ、栗原のスパイク・ブロックでリードするが、東レはエンライトのジャンプサーブから逆転し、迫田のバックアタック、時間差攻撃で勢いに乗った東レがそのままセットを奪う。
 第4セット、両者譲らず、サイドアウトを繰り返す。2回目のテクニカルタイムアウト後、岡山は福田の連続スパイクで3点リード。一方東レはエンライトが気迫のスパイクでチームに勢いをつける。しかし19対17、岡山リードの場面で、エンライトが負傷し、チームに動揺が残るままセットは進み、そのまま岡山がセットを奪う。
 第5セット、一進一退でゲームが進み、東レはキャプテン荒木がチームをまとめ、一方岡山は中盤栗原を投入、スパイクやブロックの活躍で岡山リードの展開。終盤岡山栗原のスパイクを東レ迫田がブロックし、デュースに持ち込み、最後は東レが連続ポイントをあげ、フルセットの末、2連覇に王手をかけた。

■Coach Comment: 河本 昭義(岡山シーガルズ)

体力・技術・精神面においてワンステップ上を目指していきたい。残されたリーグでの戦いにおいてよい教訓になった。宮崎の地に遠方より応援に駆け付けてくださったファン並びに宮崎のバレーボールファンの皆様に対して心よりお礼を申し上げます。よいお年をお迎えください。

■Coach Comment: 菅野 幸一郎(東レアローズ)

たくさんの応援ありがとうございました。毎試合1セット目のスタートから連続失点でリズムを崩していたのが課題であったが、練習での成果が出てうまく回すことができた。岡山シーガルズのアタックをレシーブし、カウンターアタックを効果的に決めることができたが、2セット目はシーガルズのフェイントやプッシュに対応できず苦しかった。エンライトが怪我でいない中、全員バレーで勝つことができた。明日も応援よろしくお願いします。

■作成者: 後藤 浩之

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。